

埼玉労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

— 株式会社サイゼリヤ —

平成29年2月2日、田畑一雄 埼玉労働局長が、株式会社サイゼリヤの取締役組織開発室長である長岡 伸氏を訪問。「働き方改革」への取組状況をお聴きし、更なる取り組みへの推進をお願いしました。



< 会社概要 >

本社所在地	吉川市旭2番地5
設立	昭和48年5月
代表者	代表取締役社長 堀埜 一成
従業員数	10,744名（平成28年8月現在）
事業内容	イタリア料理店「サイゼリヤ」をチェーン展開する フードサービス業

【取組み状況】

○多様な働き方に向けた取組

1. 地域限定正社員など多様な正社員制度

- ・2016年から都内店舗で、引っ越しを伴わない地域限定正社員制度を実施。2017年から11都市で実施し、これまでに40人程度が利用。今後、実施地域を順次拡大していく予定。

2. テレワーク制度

- ・エリアマネージャー及び設備管理者といった各店舗を回っている社員は、携帯端末を用いモバイルワークを実施している。

○労働時間削減の取組

1. 24時間営業のとりやめ等

- ・労働条件改善のため、2001年には93店舗あった24時間営業店舗について、順次営業時間を短縮し、2011年2月をもってゼロとした。
- ・駅ビルやショッピングセンターへの出店をすすめることで、閉店時間を午後10時～11時と早めることができる。(ロードサイド店だと深夜まで営業しているため。)

○生産性向上に向けた取組

1. 店舗集配金セキュリティサービスの利用

- ・従業員の安全と業務負担低減を目的として、2001年より運用を開始した。売上金の回収と釣り銭の補充を毎日実施している。それまでは、従業員が近隣の銀行に毎日入金と両替を行っていたので、導入とともに業務負担が大幅に改善した。防犯上の改善にもつながっている。

2. 店舗作業の軽減のための様々な取組

- ・国内5工場にて半加工を行い、店舗作業を大幅に削減。
- ・店舗レイアウトと店舗作業の標準化により、教育期間の短縮。
- ・コールベル、ドリンクバー、シルバー（カトラリー）ボックスの導入。
- ・コンベアオープン、IHの導入とポーション化による作業と労災の削減。

3. 準社員採用コールセンターの設立

- ・店長の業務削減と、レスポンス向上による採用数の向上を目的として2017年に開始。今まで店長がやり取りしていた応募者とのアポに関する業務を一括管

理とした。アルバイト、パート従業員は、大幅に増加している。

○社員の士気向上に向けた取組

1. 準社員の社会保険加入の促進

・パート・アルバイトのうち社会保険加入の方を対象に、時給の加算や賞与を支給するなどして、社会保険加入要件を満たす準社員への転換をすすめており、現在は2,600名を超えている。店長不在時の責任者として勤務してもらえることから、店長の負担削減にもつながる。その後の社員登用までの道が開かれている。

2. 株式給付信託（J-ESOP）の導入

・従業員の帰属意識や士気を高めることを目的として、自社の株式を給付する制度を開始。正社員からアルバイトまで全社員が対象で勤続年数の条件を満たせば、退職時に株式を受け取ることができる。

○障害者雇用の促進（チャレンジド雇用）

・障害者雇用率は3.7%と、法定の2.0%（平成30年4月1日から2.2%へ引き上げ。）を大きく上回って雇用している。

・雇用の場は、本社では経理、店舗では調理補助、仕込み、接客、工場ではライン作業など、障害の状態や程度などに応じ対応している。

・平成28年度に障害者雇用優良事業所として厚生労働大臣表彰を受賞。